

選ばれる日本に向けた望ましい外国人材受入れ制度を考える

第2回「送出し国ごとの労働者の脆弱性の違い」

2022年6月29日

国際労働市場の失敗： 高額斡旋料が好まれる構造を通じて構築 される労働者の脆弱性

Failure of International Labour Market: Social Construction of
Vulnerability of Migrant Workers through Market Preference
over High Recruitment Cost

京都大学大学院文学研究科

社会学専修/国際連携文化越境専攻

安里和晃

asatowako@gmail.com

著作権は報告者に帰属します

本日の要旨

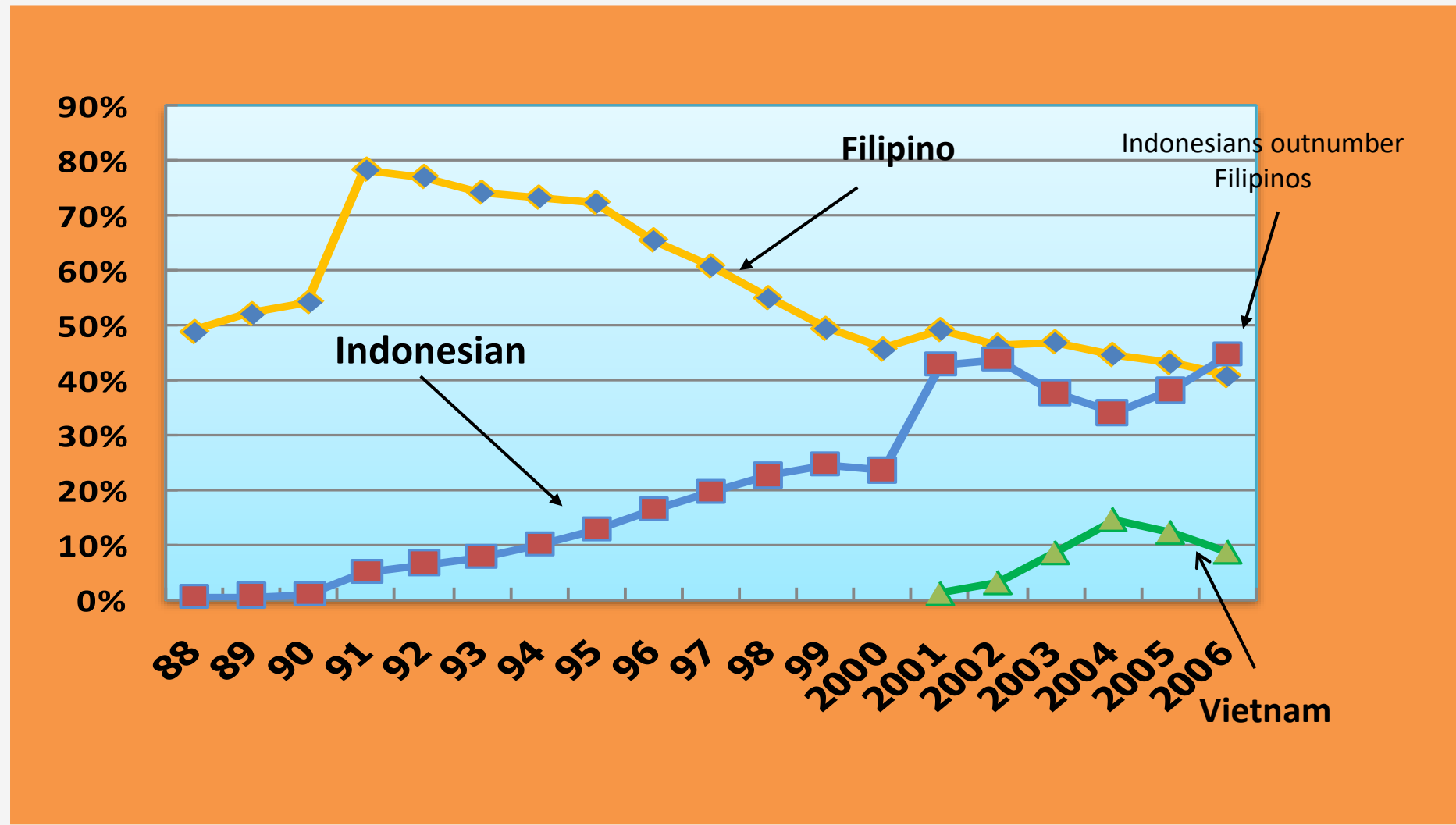
1. 国際労働市場における失敗に関する検討
2. 斡旋費用等負担額と失踪率は強く関係
3. ①斡旋料は制度により異なる
 - 斡旋料0: EPA (PH, IN, VN)、技能実習・家事支援外国人(PH)
 - 技能実習制度: 失踪者平均ベトナム100万円超!
4. ②斡旋料は人材レベルにより異なる
 - 非高度人材: 全体として労働者の費用負担額が大きい
 - EPA: 労働者の負担額低い
 - 高度人材: 通常は1か月分の給料
5. ③斡旋料は送り出し国により異なる
 - フィリピン低く、新興送り出し国は高い(送り出し国間競争)
6. 政治と経済は斡旋料の高い制度に靡く
 - 経済連携協定EPAと特定技能は失速
 - 技能実習
 - 特定技能は日本国内の在留資格変更手段
7. 価格調整機能を持たないMOCを協定に!

本報告は移住労働者、各国送り出し機関、ILO, IOMなど国際機関、メコンマイグレーションネットワーク(NPO)と関連会議、各国の日本国大使館、ブローカーなどの聞き取り、法務省「実習実施者等から失踪した技能実習生に係る聴取票」などをもとにしている。
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/singi/jyouhou/index.html

送り出し国の政策や動向については Mekong Migration Network, 2019, *Social Protection Across Borders: Roles of Countries of Origin in Protecting Migrants' Rights*, Mekong Migration Network. Mekong Migration Network, 2019, *Labour Migration from Mekong Countries of Origin to Japan*, Mekong Migration Network.

本研究については、『文化連情報』に連載をしている。

外国人家事労働者の出身国の推移 (香港・台湾・シンガポールの合計)



国際労働市場の失敗

スハルト政権後期から女性の送り出し推進政策が始まる。

国際労働市場に食い込むためには、フィリピン人労働者以上の魅力を備えなければならない
→ 斡旋費用を高額化して、一部を雇用主に還元する
→ 低賃金など労働条件の悪化の容認
→ 受け入れ国雇用主のシェア獲得

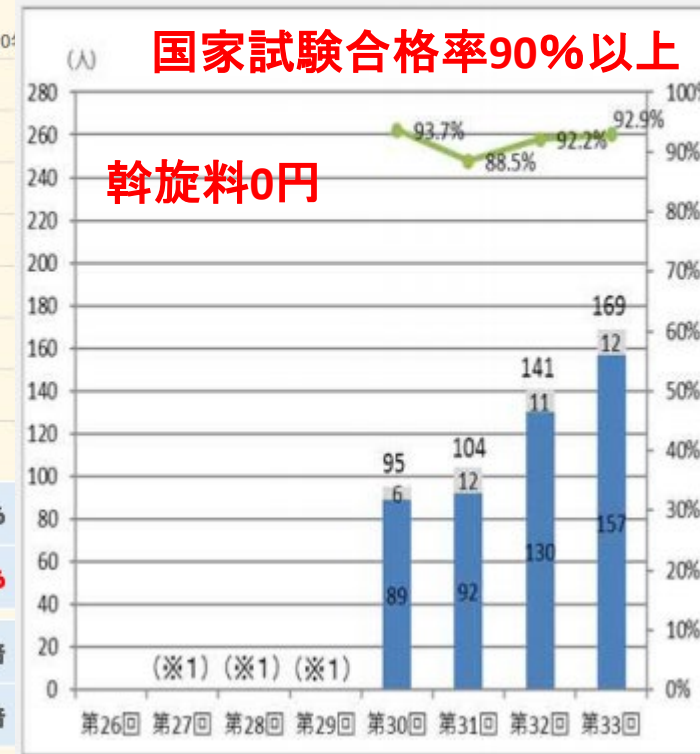
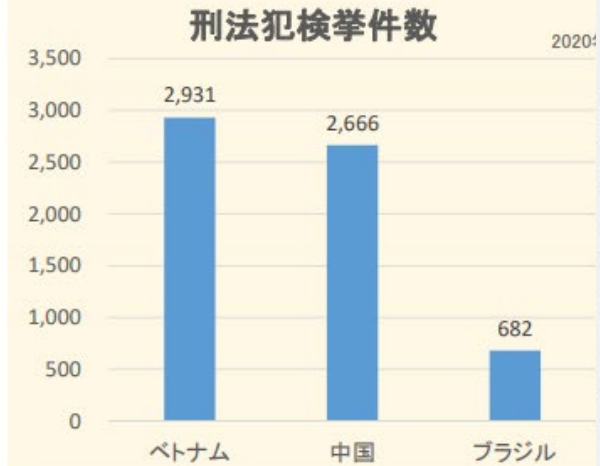
安里₃(2008)

在留ベトナム人の増加に伴い問題も顕在化

経済連携協定介護福祉士国家試験合格率

ベトナム

▶ 不法残留者数、技能実習生の失踪者数、刑法犯検挙件数のすべてでベトナムが1位



在留外国人に占めるベトナム人の割合 2020年末	15.5 %
不法残留者に占めるベトナム人の割合 2021年1月1日	18.9 %
在留ベトナム人の増加率 2012年末→2020年末	8.6 倍
不法残留ベトナム人の増加率 2013年1月1日→2021年1月1日	14.1 倍

技能実習生に占めるベトナム人の割合 2019年末	53.2 %
技能実習失踪者に占めるベトナム人の割合 2019年	89.4 %
ベトナム人技能実習生の増加率 2012年末→2019年末	13.1 倍
失踪ベトナム人技能実習生の増加率 2012年→2019年	12.3 倍

在留外国人に占めるベトナム人の割合 2020年末	15.5 %
刑法犯検挙件数に占めるベトナム人の割合 2020年	30.8 %
在留ベトナム人の増加率 2012年末→2020年末	8.6 倍
ベトナム人による刑法犯検挙件数の増加率 2012年→2020年	2.4 倍

(出典)法務省「本邦における不法残留者数について」

(出典)法務省公表資料を基に当館作成

(出典)警察庁「組織犯罪の情勢」

在ベトナム日本大使館「ベトナム人技能実習生の受入れに係る留意事項」

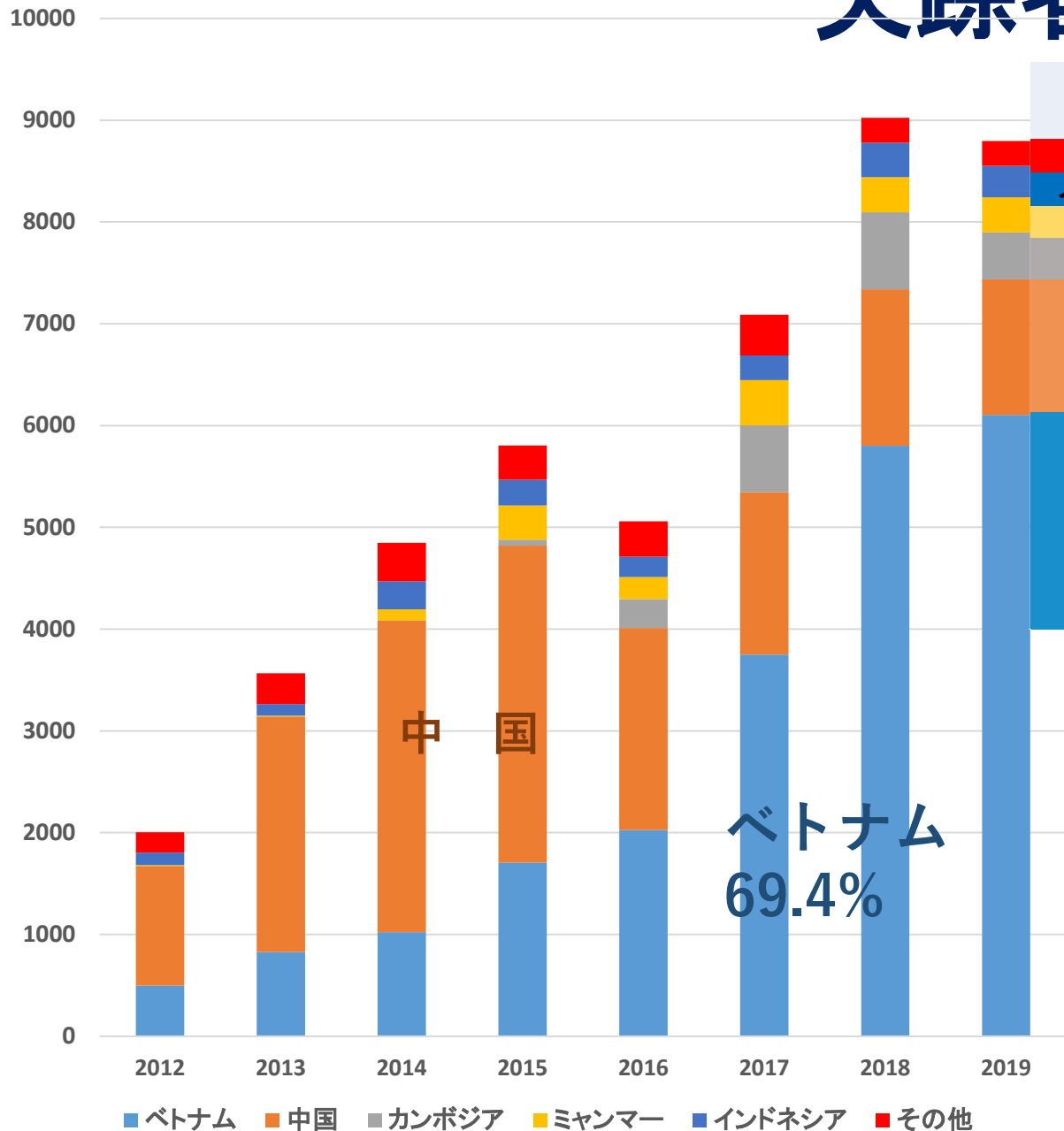
<https://www.vn.emb-japan.go.jp/files/100079870.pdf>

同じベトナム出身者。この差をどう考えますか。
→制度を吟味して差異が生じる理由を検討すべき。

厚生労働省「第33回介護福祉士国家試験結果」

<https://www.mhlw.go.jp/content/12004000/000759472.pdf>

失踪者と斡旋手数料の関係



国籍	失踪者国籍別割合	失踪率(2019年推計)	TITP法定斡旋料	失踪者の送出国平均負担額(万円)
フィリピン	NA	0.473%	ゼロ	22.2
インドネシア	3.50%	0.867%	上限なし	40.8
ミャンマー	3.90%	2.65%	USD2800	
カンボジア	5.30%	4.85%	上限なし	70-80
中国	15.10%	1.61%	上限なし	83.7
ベトナム	69.40%	2.79%	USD3600	102.8

失踪者数の推移は法務省統計による。失踪者の送り出し国平均負担額は安里(2020)によっている。カンボジアの失踪者の送り出し国平均負担額は、一般的な斡旋手数料であり、失踪者のそれはより高いと推測(斡旋業者協会に対する聞き取り2019年)。Recruitment fee guideline of the Philippines. a) 技能実習制度 POEA MC-04-2018 b) 外国人建設人材 POEA MC-10-2015 c) 国家戦略特区内の家事支援人材 POEA GBR-08-2016 d) Project to Accept Foreigners Conducting Housekeeping Services in National Strategic Special Zones of Japan. POEA GBR-08-2016 のすべてにおいて日本への送り出し斡旋料は0。失踪率は同年末の在留者を分母としている。

技能実習生「失踪」者の概況

表 技能実習生失踪者の概要

	中国	ベトナム	インドネシア	フィリピン	全体
総回答数	1499	1063	123	34	2778
男性の割合	0.627	0.691	0.916	0.970	0.673
失踪理由低賃金割合	0.722	0.631	0.395	0.455	0.669
失踪までの期間(月)	14.4	17.5	19.5	16.6	16.7
斡旋料(万円)	83.7	102.8	40.8	22.2	88.2
期待賃金(万円)	15.7	12.6	12.5	13.2	14.4
月額給与(万円)	10.3	10.2	10.8	11.1	10
差額(万円)	5.4	2.4	1.7	2.1	4.4
斡旋料/期待賃金(月)	5.33	8.16	3.26	1.68	6.13
斡旋料/実質賃金(月)	8.13	10.08	3.78	2.00	8.82

出所: 法務省「実習実施者等から失踪した技能実習生に係る聴取票」。安里和晃, 2020, 「多様な福祉レジームと海外人材: 24 失踪の構造: 失踪した技能実習生にかかる聴取票から」『文化連情報』(505): 54-57.

———, 2020, 「多様な福祉レジームと海外人材: 25 失踪の構造: 失踪後の就労はどうなっていくのか」『文化連情報』(506): 44-47.

高斡旋料低賃金構造

国別斡旋料は統計的に有意な差あり。賃金はほとんどなし。

労働者と雇用主以外の多様な契約も問題を複雑にしている一因。

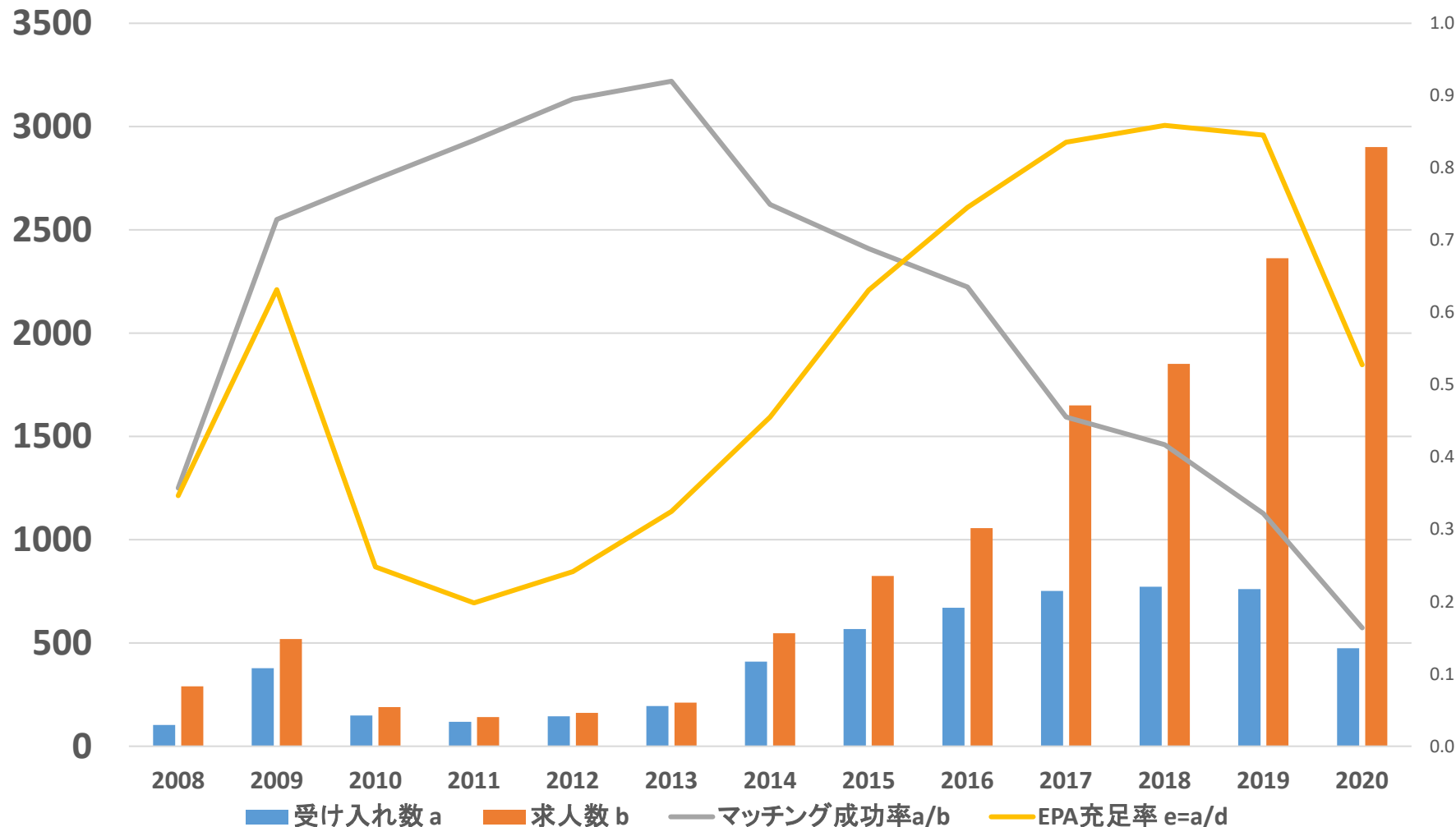
守られない・監督されない同等報酬要件、同一労働同一賃金。

高額斡旋料の一部は教育の充実化に用いられるが、他の一部は受け入れ企業の接待やリベートに回る。これが最大の雇用の誘因となっている。台湾も同様。

「失踪」者データであり、技能実習一般化はできない。適正化法以降は入っていない。

政治と経済は斡旋料の高い制度に靡く

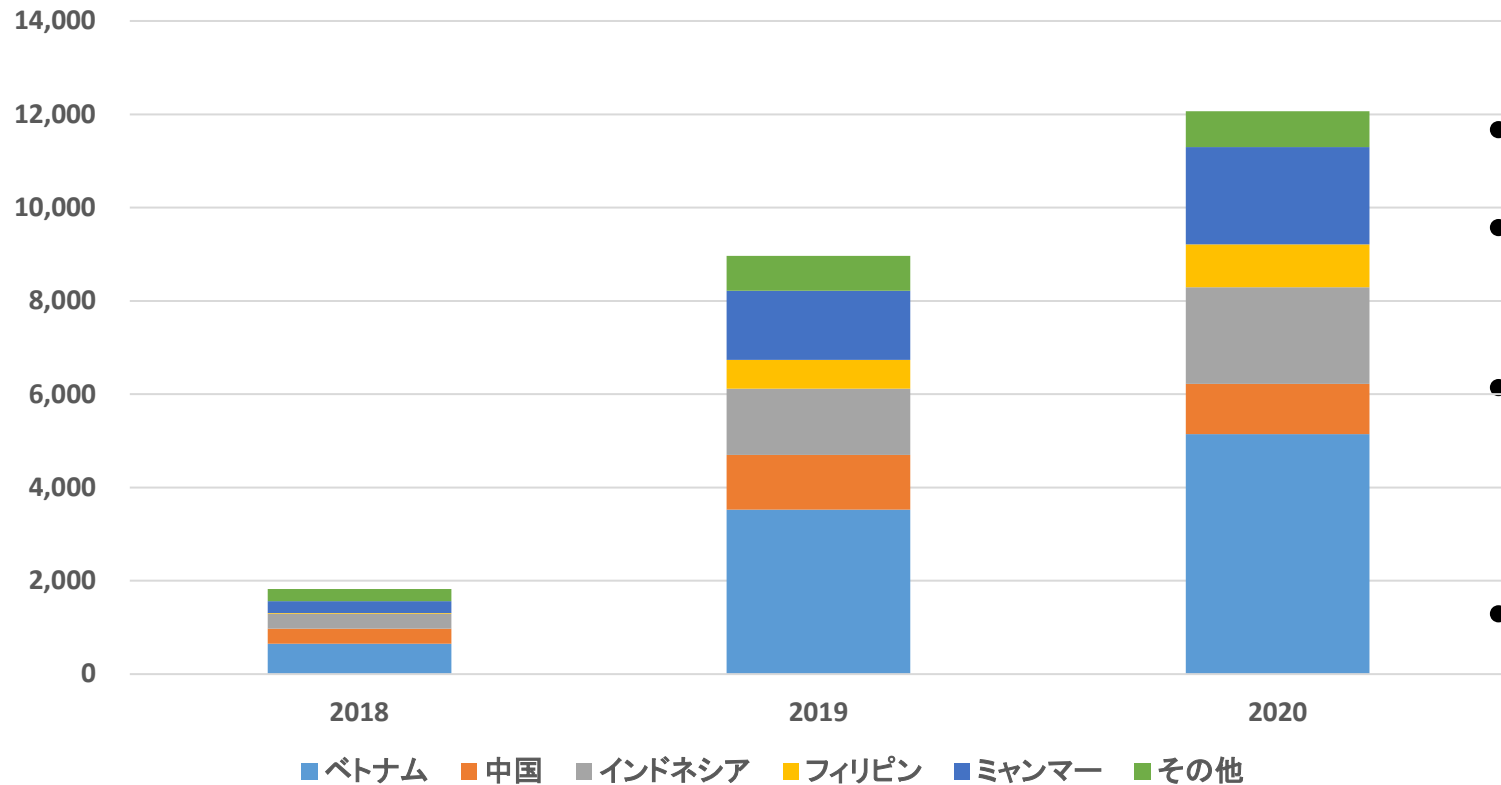
EPA介護福祉士候補者求人数・受入数と充足率



- 経済連携協定を通じた介護職の受け入れは日本サイドで人気がある
- 求職者数は日本サイドからの要望により求人の1.5倍から2倍。実際は人が集まらない
- 斡旋料0にもかかわらず、送り出し国から人気がない。なぜか

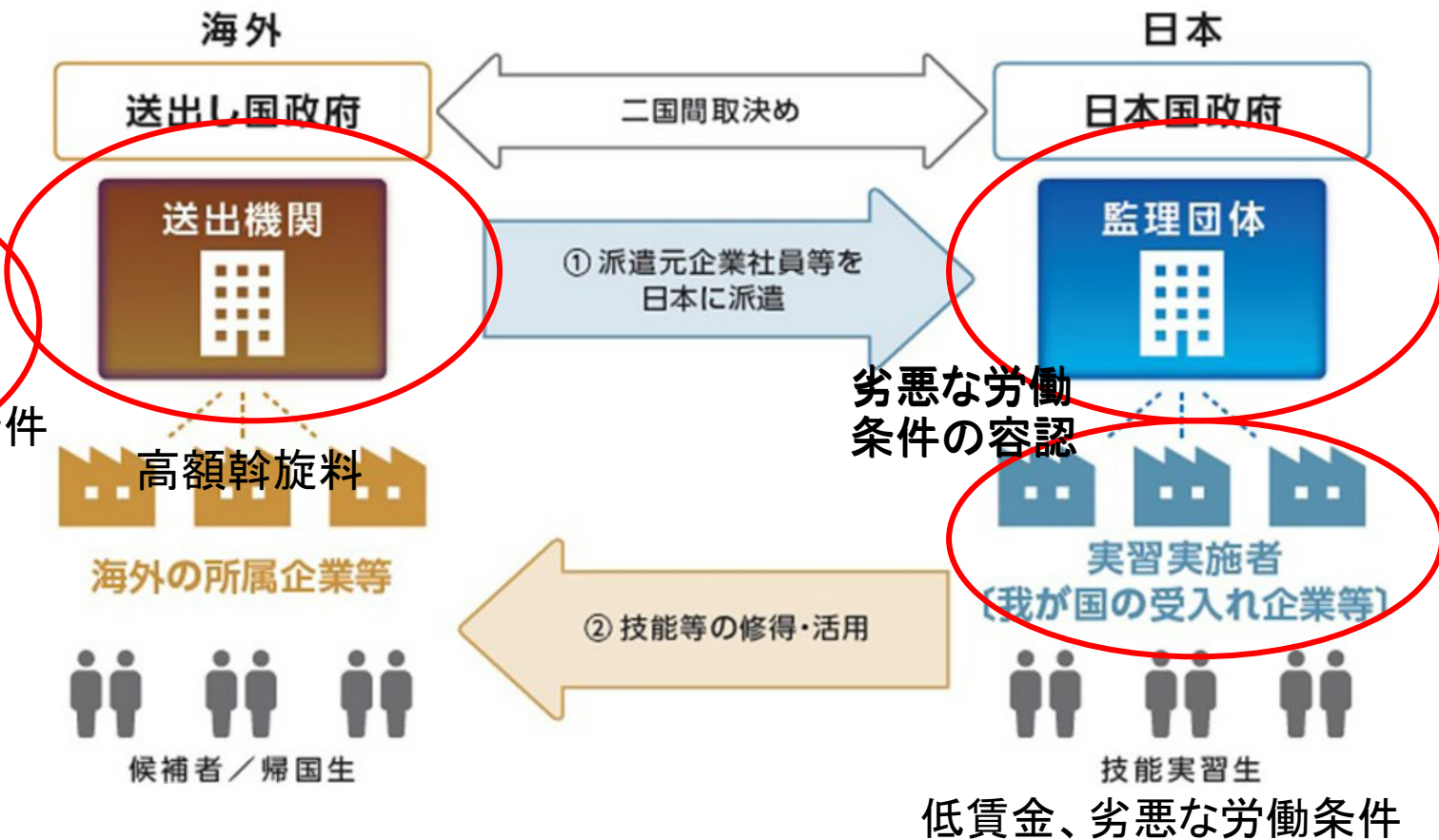
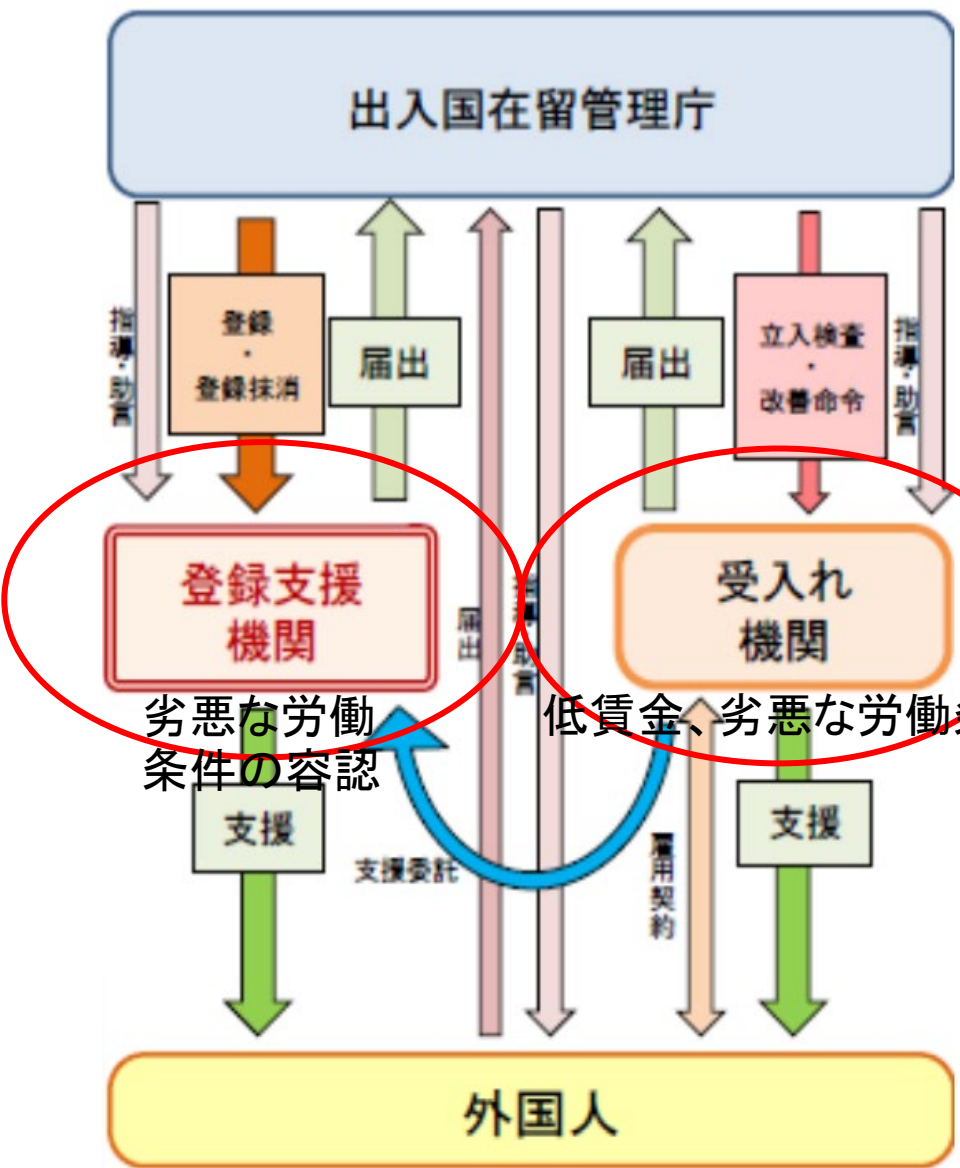
技能実習介護

技能実習介護の推移



- 歴史的に介護職が多いとされたフィリピンはほとんどリクルートされていない。使用者負担が大きい。
- ベトナムは手数料高いが、手続きも迅速。
- インドネシアも増加傾向。
- ミャンマーは新規参入国として注目されている。
- なぜ斡旋料なく公的支援度の高いEPAは人気は落ちているのか？
- お金の動く制度に人が集まっている(市場の吸引力)。EPAの情報が届かず人気は停滞。金の動くところに政治も人も動く

斡旋制度と送り出し国の選好



特定技能(出所MHLW) 送り出し国公的機関の不在→
保護も利益なく送り出し国政府の支持を得にくい

技能実習(出所JITCO)

まとめ

- 国際労働市場の失敗①: 高額斡旋料ほど市場のシェアを握る。またEPAのような公的支援度の高い制度は送り出し国で衰退。
- 国際労働市場の失敗②: 特定技能は送り出し国の人気なし(高額斡旋料ほど市場吸引力があるため)→特定技能は日本国内での移動による。
- 高額斡旋制度が選択され温存される一方、責任は個人化(脆弱なる労働者の社会的構築)
- 私たちの倫理的二重基準: 日本人に対する職業紹介手数料等労働者負担ほぼゼロ。外国人に対しては高額斡旋手数料を許容。
- 良心に依存するのではなく、良心を支える制度が必要
- 提言1: シンプル・効率化: 技能実習の形式上の無駄を除く(前職証明偽造書類)。ネット申請による行政の効率化。とにかく制度コストが高い。
- 提言2: 情報の非対称性の修正: 信頼される情報源の作成(例: POEAや特定技能(インドネシア))
- 提言3. 法的拘束力がなく価格統制機能を持たないMOCを協定に格上げ(例EPA)。
- 失踪(超過滞在)は本人にとっても、社会にとっても大きなコスト負担
 - 超過滞在者(仮放免)のケアの経験から
 - 自殺、犯罪、反社による困り込み、偽装結婚、「偽装」養子などなど